

男女共同参画せんだいプラン 2021 令和 6 年度当初までの振り返り（全体版）

1 概況

基本目標 1 あらゆる分野における女性の多様な力の発揮

- ・ 成果目標 3 項目のうち 2 項目は目標達成。モニタリング指標の 5 項目は、この 3 年間、増加傾向が継続。

基本目標 2 政策・方針決定過程への女性の参画

- ・ 成果目標 6 項目のうち 2 項目は目標達成。モニタリング指標の 4 項目のうち、PTA 会長に占める女性の割合のみが減少。ほかは増加傾向が継続。
- ・ 成果目標は市役所におけるものが大多数であり、庁内担当部署で取組を進めているが、数値への反映が難しい。

基本目標 3 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現

- ・ 成果目標 9 項目のうち 3 項目は目標達成。モニタリング指標の 2 項目のうち 1 項目は増加傾向が継続。
- ・ 子の年齢に応じたサービスを成果目標としているため、少子化の影響を受ける可能性がある。

基本目標 4 配偶者等からの暴力(DV)や性暴力の根絶、性と健康への理解と支援の促進

- ・ 成果目標 4 項目全てが目標未達成。今夏実施の市民意識調査の結果を踏まえて、来年度において評価を実施する。
- ・ モニタリング指標は 9 項目あるが、項目により増減の幅が大きい状況。

基本目標 5 貧困などの困難に対する支援と障害の有無や性のあり方など一人ひとりの多様性の尊重を通じた地域社会づくり

- ・ 成果目標 3 項目全てが目標未達成。
- ・ モニタリング指標 6 項目のうち 4 項目で男女別の統計を行っており、性差による経年変化が見える。

基本目標 6 男性による男女共同参画の推進

- ・ 成果目標 3 項目全てが目標未達成。モニタリング指標は 4 項目あるが、今夏実施の市民意識調査の結果を踏まえて、来年度において評価を実施する。

基本目標 7 男女共同参画を推進する学びと協働の充実

- ・ 成果目標 2 項目全て目標未達成。モニタリング指標の 5 項目のうち 2 項目は今夏実施の市民意識調査の結果を踏まえて、来年度において評価を実施する。また、財団実施事業はコロナによる事業休止以降、コロナ前の水準には戻っていない状況。

<主な成果目標・モニタリング指標>

項目	計画策定時	令和3年度当初	令和4年度当初	令和5年度当初	令和6年度当初	令和6年度当初 までの評価	目標値
企業等を対象とした女性活躍推進に関するセミナー・出前講座等実施数	30回 (令和元年度)	10回 (令和2年度)	16回 (令和3年度)	24回 (令和4年度)	18回 (令和5年度)	【未達】 のべ58回	5年間 のべ150回 (令和7年度)
市の審議会等における女性委員の割合 ※行政委員会を除く 目標値：令和6年2月改定	37.1% (令和元年度末)	36.0% (令和2年度末)	35.2% (令和3年度末)	36.3% (令和4年度末)	37.2% (令和5年度末)	【未達】 37.2% (令和5年度末)	40%以上 (令和7年度)
職員の超過勤務時間数等 ①年720時間超の人数 ②以下を超過した月数の合計 ・月100時間未満 ・2～6か月平均80時間以下 ・月45時間超は年6か月まで ※市長部局、各行政委員会事務局（教育局除く） ※選挙手当分を除く	① 79人 ② 1,300月 (令和元年度)	① 119人 ② 1,525月 (令和2年度)	① 166人 ② 2,042月 (令和3年度)	① 168人 ② 2,170月 (令和4年度)	① 96人 ② 1,781月 (令和5年度)	【未達】 ① 96人 ② 1,781月 (令和5年度)	①・②に ついて、 0とする (令和7年度)
仙台市における配偶者等からの暴力に関する相談件数	2,025件 (令和元年度)	2,903件 (令和2年度)	2,226件 (令和3年度)	2,214件 (令和4年度)	1,847件 (令和5年度)		—
「仙台市生活自立・仕事相談センター わんすてっぷ」における新規相談件数	女性1,295名 男性1,630名 (令和元年度)	女性1,861名 男性3,219名 不明81名 (令和2年度)	女性1,875名 男性3,264名 (令和3年度)	女性1,140名 男性1,578名 (令和4年度)	女性1,380名 男性1,525名 (令和5年度)		—
市役所における男性職員の育児休業取得率 目標値 令和5年12月改定	15.0% (令和元年度)	21.5% (令和2年度)	37.7% (令和3年度)	37.3% (令和4年度)	市長部局等 82.7% 教育局 32.4% 消防局 24.6% 企業局 66.1% (令和5年度)	【未達】 市長部局等 82.7% 教育局 32.4% 消防局 24.6% 企業局 66.1% (令和5年度)	市長部局等※1 85%以上 (取得期間1週間以上) 教育局 50%以上 消防局 50%以上 企業局※2 50%以上 (令和6年度)

せんだい男女共同参画財団による出前講座の実施数	43 件 (令和元年度)	16 件 (令和2年度)	30 件 (令和3年度)	56 件 (令和4年度)	39 件 (令和5年度)	【未達】 のべ125件	5年間 のべ220件 (令和7年度)
-------------------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	----------------	--------------------------

※1 市長部局、市選挙管理委員会事務局、人事委員会事務局、監査事務局、農業委員会事務局及び議会事務局の合計

※2 水道局、交通局、ガス局及び市立病院の合計

(注) 成果目標とモニタリング指標について

【成果目標】

本計画期間満了時に目指すべき目標値を明らかにするとともに、各年度の取り組みの成果を測るために設定したもの。

【モニタリング指標】

目標値の設定は困難又は不適當であるものの、取り組みを効果的に推進するため基本目標や重点課題に関連する状況を把握するための指標として設定したもの。

※なお、数年に一度の調査による指標については、調査を実施しない年度の欄に斜線を引いている。

2 基本目標ごとの施策の方向に関する取り組みの実施状況

基本目標1 あらゆる分野における女性の多様な力の発揮

【成果目標】

項目	計画策定時	令和3年度当初	令和4年度当初	令和5年度当初	令和6年度当初	令和6年度当初までの評価	目標値
企業等を対象とした女性活躍推進に関するセミナー・出前講座等実施数	30回 (令和元年度)	10回 (令和2年度)	16回 (令和3年度)	24回 (令和4年度)	18回 (令和5年度)	【未達】 のべ58回	5年間 のべ150回 (令和7年度)
女性リーダー育成事業修了者のイベント等への登壇数 (基本目標2再掲)	18回 (令和元年度)	9回 (令和2年度)	22回 (令和3年度)	28回 (令和4年度)	50回 (令和5年度)	【達成】 のべ100回	5年間 のべ86回 (令和7年度)
男女共同参画の視点による防災・まちづくり事業への参加者数	74人 (令和元年度)	68人 (令和2年度)	94人 (令和3年度)	156人 (令和4年度)	162人 (令和5年度)	【達成】 のべ412人	5年間 のべ400人 (令和7年度)

【モニタリング指標】

項目	計画策定時	令和3年度当初	令和4年度当初	令和5年度当初	令和6年度当初	令和6年度当初までの状況
25歳～44歳の女性の有業率 ※総務省「就業構造基本調査」	77.4% (平成29年)			78.2% (令和4年)		計測時において上昇
仙台市起業支援センター「アシスタ」 における起業相談件数	女性612人 男性568人 (令和元年度)	女性560人 男性600人 (令和2年度)	女性621人 男性701人 (令和3年度)	女性617人 男性829人 (令和4年度)	女性692人 男性916人 (令和5年度)	令和6年度当初に おいて最大
女性活躍推進法に基づく認定（えるぼし認定・プラチナえるぼし認定）を受けた企業数	4社 (令和元年度末)	8社 (令和2年度末)	10社 (令和3年度末)	14社 (令和4年度末)	19社 (令和5年度末)	令和6年度当初に おいて最大

「女性のチカラを活かす企業」認定企業数	133社 (令和2年4月1日)	174社 (令和3年4月1日)	196社 (令和4年4月1日)	214社 (令和5年4月1日)	223社 (令和6年4月1日)	令和6年度当初において最大
仙台市地域防災リーダー養成講習を修了した女性の人数・割合	209人 (全体の23.4%) (令和元年度末)	新規養成講習会未実施 (令和2年度末)	226人 (全体の22.6%) (令和3年度末)	249人 (全体の22.7%) (令和4年度末)	284人 (全体の23.8%) (令和5年度末)	令和6年度当初において最大

<取り組みの成果・課題・今後の方向性>

働く場や地域など女性が自らの望む分野で力を発揮することができるよう、女性に対する支援や活躍を支える環境づくりに向けた取り組みを着実に進めてきており、引き続き各種施策を推進していく。

基本目標 2 政策・方針決定過程への女性の参画

【成果目標】

項目	計画策定時	令和3年度当初	令和4年度当初	令和5年度当初	令和6年度当初	令和6年度当初までの評価	目標値
市の審議会等における女性委員の割合 ※行政委員会を除く 目標値：令和6年2月改定	37.1% (令和元年度末)	36.0% (令和2年度末)	35.2% (令和3年度末)	36.3% (令和4年度末)	37.2% (令和5年度末)	【未達】	40%以上 (令和7年度)
女性委員がない市の審議会等の数 ※行政委員会を除く	2 (令和元年度末)	1 (令和2年度末)	2 (令和3年度末)	2 (令和4年度末)	1 (令和5年度末)	【未達】	早期に0とし 維持する
公募委員が参画している市の審議会等の数	12 (令和元年度末)	10 (令和2年度末)	9 (令和3年度末)	11 (令和4年度末)	10 (令和5年度末)	【未達】	17 (令和7年度末)
市役所の女性職員の係長職昇任試験受験率	26.2% (令和元年度)	26.4% (令和2年度)	25.0% (令和3年度)	26.1% (令和4年度)	23.5% (令和5年度)	【未達】	35% (令和7年度)
市役所における女性管理職の割合 ※市長部局	18.5% (令和2年4月1日)	18.3% (令和3年4月1日)	20.1% (令和4年4月1日)	22.1% (令和5年4月1日)	25.1% (令和6年4月1日)	【達成】	25% (令和7年度当初)
女性リーダー育成事業修了者のイベント等への登壇数 (基本目標1再掲)	18回 (令和元年度)	9回 (令和2年度)	22回 (令和3年度)	28回 (令和4年度)	50回 (令和5年度)	【達成】 のべ100回	5年間 のべ86回 (令和7年度)

【モニタリング指標】

項目	計画策定時	令和3年度当初	令和4年度当初	令和5年度当初	令和6年度当初	令和6年度当初までの状況
仙台市の小・中学校における女性管理職の割合	17.3% (令和2年4月1日)	19.5% (令和3年4月1日)	22.7% (令和4年4月1日)	24.4% (令和5年4月1日)	24.9% (令和6年4月1日)	令和6年度当初において最大

管理的職業従事者における女性の割合 ※総務省「就業構造基本調査」	16.9% (平成 29 年)			17.6% (令和 4 年)		計測時において上昇
PTA 会長に占める女性の割合	28.7% (令和 2 年 4 月 1 日)	31.0% (令和 3 年 4 月 1 日)	28.0% (令和 4 年 4 月 1 日)	28.5% (令和 5 年 4 月 1 日)	24.2% (令和 6 年 4 月 1 日)	令和 6 年度当初に おいて減少
町内会長に占める女性の割合	11.3% (令和 2 年 4 月 1 日)	12.1% (令和 3 年 4 月 1 日)	11.3% (令和 4 年 4 月 1 日)	12.1% (令和 5 年 4 月 1 日)	13.1% (令和 6 年 4 月 1 日)	令和 6 年度当初に おいて最大

<取り組みの成果・課題・今後の方向性>

市の審議会等における女性委員の登用率は増加傾向にあるが、未だ 30%台に留まっている。特に登用率の低い分野への集中的・計画的な働きかけなど、さらなる取り組みを進めていく必要がある。

基本目標3 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現

【成果目標】

項目	計画策定時	令和3年度当初	令和4年度当初	令和5年度当初	令和6年度当初	令和6年度当初 までの評価	目標値
仙台「四方よし」企業大賞制度における大賞・優秀賞・宣言企業の合計数 ※令和6年度より「仙台「四方よし」企業制度」に変更	17社 (令和元年度)	24社 (令和2年度)	39社 (令和3年度)	44社 (令和4年度)	46社 (令和5年度)	【未達】	47社 (令和7年度)
職員の超過勤務時間数等 ①年720時間超の人数 ②以下を超過した月数の合計 ・月100時間未満 ・2～6か月平均80時間以下 ・月45時間超は年6か月まで ※市長部局、各行政委員会事務局（教育局除く） ※選挙手当分を除く	① 79人 ② 1,300月 (令和元年度)	① 119人 ② 1,525月 (令和2年度)	① 166人 ② 2,042月 (令和3年度)	① 168人 ② 2,170月 (令和4年度)	① 96人 ② 1,781月 (令和5年度)	【未達】	①・②について、 0とする (令和7年度)
保育施設等の利用定員数	21,144人 (令和2年度当初)	21,536人 (令和3年度当初)	22,244人 (令和4年度当初)	22,447人 (令和5年度当初)	22,713人 (令和6年度当初)	【未達】	23,324人 (令和7年度当初)
認定こども園の目標設置数	25園 (令和元年度)	51園 (令和3年度)	83園 (令和4年度)	105園 (令和5年度)	120園 (令和6年度)	【達成】	87園程度 (令和6年度)
保育所・認定こども園における2時間以上の延長保育実施施設数	64箇所 (令和元年度)	61箇所 (令和3年度)	63箇所 (令和4年度)	54箇所 (令和5年度)	47箇所 (令和6年度)	【未達】	72箇所 (令和7年度)
保育施設等入所待機児童数	91人 (令和2年4月1日)	44人 (令和3年4月1日)	0人 (令和4年4月1日)	0人 (令和5年4月1日)	0人 (令和6年4月1日)	【達成】	0人 (令和3年4月1日)
児童クラブの待機児童数	17人 (令和2年5月1日)	5人 (令和3年5月1日)	20人 (令和4年5月1日)	11人 (令和5年5月1日)	4人 (令和6年5月1日)	【未達】	0人 (令和7年5月1日)
子育て情報に関するアプリ利用登録件数	—	1,417件 (令和2年度末)	3,625件 (令和3年度末)	6,182件 (令和4年度末)	14,725件 (令和5年度末)	【達成】	3,000件 (令和7年度)

介護老人福祉施設の定員	5,241人 (令和2年4月1日)	5,459人 (令和3年4月1日)	5,588人 (令和4年4月1日)	5,588人 (令和5年4月1日)	5,588人 (令和6年4月1日)	【未達】	5,612人 (令和5年度末)
-------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	------	--------------------

【モニタリング指標】

項目	計画策定時	令和3年度当初	令和4年度当初	令和5年度当初	令和6年度当初	令和6年度当初までの状況
過去5年間に出産・育児をきっかけとして仕事や働き方が変化した人の割合 (基本目標6再掲)	令和2年度市民意識調査を中止したため未把握。次期調査は令和6年度実施予定					令和6年8月実施の市民意識調査で把握
次世代育成支援対策推進法に基づく認定(くるみん認定・プラチナくるみん認定)を受けた企業数	30社 (令和2年4月1日)	28社 (令和3年4月1日)	30社 (令和4年4月1日)	35社 (令和5年4月1日)	39社 (令和6年4月1日)	令和6年度当初において最大

<取り組みの成果・課題・今後の方向性>

管理職・人事労務担当者や若手社員など、対象に応じてワーク・ライフ・バランス等に関する啓発を進めたほか、子育てをサポートする社会資源を充実させる一つとして、子育て情報サイト・アプリ等を通じた情報発信にも力を入れている。市役所職員の超過勤務時間数は前年度実績よりも減少しており、引き続き、目標の達成に向けて事務事業の見直しなどによる業務効率化など、長時間労働の縮減に向けた取り組みを行っていく必要がある。

基本目標 4 配偶者等からの暴力（DV）や性暴力の根絶、性と健康への理解と支援の促進

【成果目標】

項目	計画策定時	令和3年度当初	令和4年度当初	令和5年度当初	令和6年度当初	令和6年度当初までの評価	目標値
身体的暴力以外の暴力に対する「暴力」としての認識度	・大声で怒鳴る 51.2% ・外出や携帯電話・メールを細かく監視する 51.0% (令和元年度)					【未達】 令和6年8月実施の市民意識調査で把握	各70% (令和7年度)
DVを受けた後に、相談した人の割合	女性58.0% 男性9.1% 参考：H27年度					【未達】 令和6年8月実施の市民意識調査で把握	女性70% 男性40% (令和7年度)
仙台市「女性への暴力相談電話」の認知度	39.9% 参考：H27年度					【未達】 令和6年8月実施の市民意識調査で把握	60% (令和7年度)
性暴力被害者支援に関する講座の受講者数	40人 (令和元年度)	34人 (令和2年度)	80人 (令和3年度)	107人 (令和4年度)	116人 (令和5年度)	【未達】 のべ303人	5年間 のべ500人 (令和7年度)

【モニタリング指標】

項目	計画策定時	令和3年度当初	令和4年度当初	令和5年度当初	令和6年度当初	令和6年度当初までの状況
仙台市における配偶者等からの暴力に関する相談件数	2,025件 (令和元年度)	2,903件 (令和2年度)	2,226件 (令和3年度)	2,214件 (令和4年度)	1,847件 (令和5年度)	令和6年度当初において減少
婦人相談所一時保護所への送致件数	4件 (令和元年度)	7件 (令和2年度)	4件 (令和3年度)	5件 (令和4年度)	15件 (令和5年度)	令和6年度当初において最大

住民基本台帳事務におけるDV被害者の支援措置申出件数	752件 (令和元年度)	850件 (令和2年度)	921件 (令和3年度)	964件 (令和4年度)	979件 (令和5年度)	令和6年度当初において最大
宮城県警におけるDVに関する事案取扱件数(宮城県内)	2,380件 (令和元年)	2,386件 (令和2年)	2,339件 (令和3年)	1,800件 (令和4年)	1,803件 (令和5年)	令和6年度当初において前年同等
DV防止法に基づく保護命令の新規受理件数(仙台地方裁判所管内)	63件 (令和元年)	73件 (令和2年)	59件 (令和3年)	42件 (令和4年)	34件 (令和5年)	令和6年度当初において減少
性暴力被害相談支援センター宮城における性暴力被害相談専用電話「けやきホットライン」相談件数	204件 (令和元年度)	194件 (令和2年度)	296件 (令和3年度)	584件 (令和4年度)	735件 (令和5年度)	令和6年度当初において最大
「性的同意」という用語の認知度	令和2年度市民意識調査を中止したため未把握。次期調査は令和6年度実施予定					令和6年8月実施の市民意識調査で把握
思春期保健に関する講座の実施校数	22校 (令和元年度)	21校 (令和2年度)	27校 (令和3年度)	30校 (令和4年度)	45校 (令和5年度)	令和6年度当初において最大
定期的にがん検診を受けている人の割合 ※乳がん検診は40歳以上、子宮がん検診は20歳以上 ※「仙台市民の健康意識等に関する調査」より	【乳がん検診】 53.7% 【子宮がん検診】 47.0% (H28年度)		【乳がん検診】 51.1% 【子宮がん検診】 43.2% (令和3年度)			計測時において減少

<取り組みの成果・課題・今後の方向性>

DVや性暴力の根絶に向けた啓発や各種相談窓口の周知、出前講座の実施、被害者支援に関わる人材育成等の取り組みを継続して実施した。女性の健康については、女性自身はもとより働く場や社会全体で理解を深める対応をより進めていく必要がある。

基本目標 5 貧困などの困難に対する支援と障害の有無や性のあり方など一人ひとりの多様性の尊重を通じた地域共生社会づくり

【成果目標】

項目	計画策定時	令和3年度当初	令和4年度当初	令和5年度当初	令和6年度当初	令和6年度当初までの評価	目標値
男性相談の相談件数 (基本目標6再掲)	—	28件 (令和2年度)	32件 (令和3年度)	41件 (令和4年度)	54件 (令和5年度)	【未達】	100件 (令和7年度)
若年女性支援情報交換会の参加団体数	19団体 (令和元年度)	15団体 (令和2年度)	20団体 (令和3年度)	15団体 (令和4年度)	18団体 (令和5年度)	【未達】 のべ53団体	5年間 のべ100団体 (令和7年度)
性的少数者等の居場所づくり事業参加者数	—	73人 (令和2年度)	72人 (令和3年度)	136人 (令和4年度)	114人 (令和5年度)	【未達】 のべ322人	5年間 のべ900人 (令和7年度末)

【モニタリング指標】

項目	計画策定時	令和3年度当初	令和4年度当初	令和5年度当初	令和6年度当初	令和6年度当初までの状況
自殺死亡者数・自殺死亡率※ ※人口10万人当たりの自殺者数 ※厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」より	【自殺死亡者数】 女性50人 男性94人 【自殺死亡率※】 女性8.53% 男性18.26% (令和元年)	【自殺死亡者数】 女性74人 男性123人 【自殺死亡率】 女性13.48% 男性23.87% (令和2年)	【自殺死亡者数】 女性68人 男性135人 【自殺死亡率】 女性12.40% 男性26.20% (令和3年)	【自殺死亡者数】 女性61人 男性126人 【自殺死亡率】 女性11.09% 男性24.45% (令和4年)	【自殺死亡者数】 女性77人 男性102人 【自殺死亡率】 女性13.97% 男性19.76% (令和5年)	過去3年感について 自殺死亡者数は横ばい 自殺死亡率は 女性は増加傾向 男性は減少傾向

男女の賃金格差 (仙台地方振興事務所管内) ※平均賃金における、男性を100とした場合の女性の賃金の値 ※常用労働者(正社員)のみ ※宮城県「労働実態調査」	73.2 (令和元年7月)	73.8 (令和2年7月)	75.7 (令和3年7月)	70.4 (令和4年7月)	75.7 (令和5年7月)	令和6年度当初において最大
雇用者における非正規の割合 ※総務省「就業構造基本調査」	女性53.4% 男性19.2% (H29年)			女性47.7% 男性19.0% (令和4年)		5年毎調査のため、令和4年調査結果が最新。
「仙台市生活自立・仕事相談センターわんすてっぷ」における新規相談件数	女性1,295名 男性1,630名 (令和元年度)	女性1,861名 男性3,219名 不明81名 (令和2年度)	女性1,875名 男性3,264名 (令和3年度)	女性1,140名 男性1,578名 (令和4年度)	女性1,380名 男性1,525名 (令和5年度)	女性は増減の波があるものの、男性は減少傾向
「ひとり親家庭等相談支援センター」における相談延べ件数	母子家庭相談支援センター 723件 父子家庭相談支援センター 34件 (令和元年度)	母子家庭相談支援センター 763件 父子家庭相談支援センター 26件 (令和2年度)	母子家庭相談支援センター 831件 父子家庭相談支援センター 22件 (令和3年度)	母子家庭相談支援センター 835件 父子家庭相談支援センター 47件 (令和4年度)	母子家庭相談支援センター 890件 父子家庭相談支援センター 42件 (令和5年度)	過去3年間において母子家庭相談支援センター、父子家庭相談支援センターともに増加傾向
養育費保証契約保証料補助事業における補助金の申請件数	令和2年度 制度開始	9件 (令和2年度)	1件 (令和3年度)	1件 (令和4年度)	2件 (令和5年度)	過去3年間は横ばい

<取り組みの成果・課題・今後の方向性>

困難な状況にある女性を支援につなぐための事業として、アウトリーチ型相談支援、女性相談、ひとり親家庭相談など各種相談事業を展開した。性の多様性を尊重しあう環境づくりに向けては、市職員や学校、企業における理解の促進を図る取り組みをさらに進めていく。

基本目標 6 男性による男女共同参画の推進

【成果目標】

項目	計画策定時	令和3年度当初	令和4年度当初	令和5年度当初	令和6年度当初	令和6年度当初 までの評価	目標値
男性相談の相談件数 (基本目標5再掲)	—	28件 (令和2年度)	32件 (令和3年度)	41件 (令和4年度)	54件 (令和5年度)	【未達】	100件 (令和7年度)
市役所における配偶者の出産前後の育児関連休暇取得率	90.6% (令和元年度)	74.5% (令和2年度)	80.8% (令和3年度)	77.6% (令和4年度)	80.7% (令和5年度)	【未達】	100% (令和6年度)
市役所における男性職員の育児休業取得率 目標値変更 令和5年12月改定	15.0% (令和元年度)	21.5% (令和2年度)	37.7% (令和3年度)	37.3% (令和4年度)	市長部局等 82.7% 教育局 32.4% 消防局 24.6% 企業局 66.1% (令和5年度)	【未達】	市長部局等※1 85%以上 取得期間1週間以上 教育局 50%以上 消防局 50%以上 企業局※2 50%以上 (令和6年度)

※1 市長部局、市選挙管理委員会事務局、人事委員会事務局、監査事務局、農業委員会事務局及び議会事務局の合計

※2 水道局、交通局、ガス局及び市立病院の合計

【モニタリング指標】

項目	計画策定時	令和3年度当初	令和4年度当初	令和5年度当初	令和6年度当初	令和6年度当初までの状況
過去5年間に出産・育児をきっかけとして仕事や働き方が変化した人の割合 (基本目標3再掲)	—					令和6年8月実施の市民意識調査で把握
未就学児のいる男女の一日の平均家事時間(仕事のある日)	女性 507分 男性 119分 (令和元年度)					令和6年8月実施の市民意識調査で把握
介護時間等について (介護をしている者対象) ①介護者の男女比 ②一日に平均で1～2時間程度介護している人の割合 ③ほぼ一日中介護している人の割合 ※「仙台市介護保険事業計画策定の実態調査」	①女性 59.3% 男性 29.6% ②女性 28.4% 男性 31.5% ③女性 25.3% 男性 26.6% (令和元年度)			①女性 61.9% 男性 31.1% ②女性 24.7% 男性 32.8% ③女性 26.6% 男性 25.7% (令和4年度)		計測時において女性が担う役割はまだ多いが、短時間介護を行う男性が増加
介護研修の男性参加比率	介護ナイター講座 38.8% 土曜・日曜日に実施する講座 31.6% (令和元年度)	介護ナイター講座 30.8% 土曜・日曜日に実施する講座 39.3% (令和2年度)	集計なし (令和3年度)	介護ナイター講座 31.1% 土曜・日曜日に実施する講座 28.7% (令和4年度)	介護ナイター講座 23.8% 土曜・日曜日に実施する講座 28.1% (令和5年度)	令和6年度当初において参加比率は減少傾向

<取り組みの成果・課題・今後の方向性>

男女共同参画の取り組みは男性もその主体であり、男性が家事・育児・介護や地域活動などに参画することは、女性の負担を軽減するとともに、男性自身の豊かな人生にもつながる。男性の意識変化を促すための啓発や、家事・育児等に参画しやすい環境整備に向けての企業等への働きかけを、より一層進めていく。

基本目標7 男女共同参画を推進する学びと協働の充実

【成果目標】

項目	計画策定時	令和3年度当初	令和4年度当初	令和5年度当初	令和6年度当初	令和6年度当初までの評価	目標値
せんだい男女共同参画財団による出前講座の実施数	43件 (令和元年度)	16件 (令和2年度)	30件 (令和3年度)	56件 (令和4年度)	39件 (令和5年度)	【未達】 のべ125件	5年間 のべ220件 (令和7年度)
男女共同参画推進フォーラムの参加団体数	36団体 (令和元年度)	35団体 (令和2年度)	39団体 (令和3年度)	41団体 (令和4年度)	38団体 (令和5年度)	【未達】 のべ118件	5年間 のべ180団体 (令和7年度)

【モニタリング指標】

項目	計画策定時	令和3年度当初	令和4年度当初	令和5年度当初	令和6年度当初	令和6年度当初までの状況
固定的性別役割分担意識についての反対の割合 ※「反対」または「どちらかと言えば反対」の合計	女性 55.6% 男性 49.7% (令和元年度)					令和6年8月実施の 市民意識調査で把握
男女の地位が平等になっていると思う人の割合	【家庭生活】 34.5% 【職場】 24.2% 【社会全体】 12.2% (令和元年度)					令和6年8月実施の 市民意識調査で把握
せんだい男女共同参画財団が実施する男女共同参画推進講座の参加者数	6,824人 (令和元年度)	2,690人 (令和2年度)	3,653人 (令和3年度)	5,823人 (令和4年度)	4,005人 (令和5年度)	令和5年度は出前講座の依頼件数の増に伴い参加者が劇的に増加していた。

仙台市男女共同参画推進センターの図書貸出冊数	3,095 冊 (令和元年度)	2,047 冊 (令和2年度)	1,893 冊 (令和3年度)	1,926 冊 (令和4年度)	1,714 冊 (令和5年度)	コロナによる利用休止に伴う激減以降、コロナ前の状況には至っていない
仙台市男女共同参画推進センターにおける市民活動スペース等の延べ利用者数	エル・パーク仙台 (市民活動スペース) 51,101 人 エル・ソーラ仙台 (市民交流・ 図書資料スペース) 99,273 人 (令和元年度)	エル・パーク仙台 (市民活動スペース) 410 人 エル・ソーラ仙台 (市民交流・ 図書資料スペース) 15,618 人 (令和2年度※1)	エル・パーク仙台 (市民活動スペース) 3,220 人 エル・ソーラ仙台 (市民交流・ 図書資料スペース) 15,069 人 (令和3年度※1)	エル・パーク仙台 (市民活動スペース) 5,486 人 エル・ソーラ仙台 (市民交流・ 図書資料スペース) 19,403 人 (令和4年度)	エル・パーク仙台 (市民活動スペース) 6,624 人 エル・ソーラ仙台 (市民交流・ 図書資料スペース) 28,502 人 (令和5年度)	コロナによる利用休止に伴う激減以降、コロナ前の状況には至っていない

※1 エル・パーク仙台（市民活動スペース）及びエル・ソーラ仙台（市民交流・図書資料スペース）では、新型コロナウイルス感染症の影響により一時両スペースの利用を停止した。

<取り組みの成果・課題・今後の方向性>

固定的な性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアスへの気付きを促す取り組みは、男女共同参画を推進していく上で非常に重要であり、今後も、エル・パーク仙台やエル・ソーラ仙台、学校教育などのさまざまな場での啓発や、市民活動と連携した取り組みを進めていく。